



発行第27号 2025年8月

くまもと県北病院 認定看護師会

認定看護師だより



錠剤嚥下障害とは？

摂食嚥下障害看護認定看護師

川野陽子 浦野仁美



錠剤嚥下障害で起こる症状

錠剤やカプセルを飲み込むことへの恐怖

処方された薬をすべて飲めない

砕いたり、包んだりしないと飲めない

喉や胸に錠剤やカプセルがつかえた感じ



錠剤嚥下障害とは、薬を飲み込むことが難しくなり、本来飲み込んで胃腸に運ばれる薬が口やのど、食道に留まってしまうことで薬の効き目に影響を与えたり、誤嚥や窒息を引き起こす障害です。原因としては、薬の処方があってない（量が多い、飲み込みにくい形状や大きさ）、機能的な問題、食道の動きの低下があげられます。

★専門医や薬剤師に相談して、早めに対処しましょう



薬を飲む時の姿勢で気をつけること



【座位の場合】

◎顎が上がってないか、体幹がずれてないか

【ベッド上の場合】

◎上体を起こしたときに腹部を圧迫してないか、頸部が拳1個入る程の前屈位になっているか

服薬時のポイント

★患者が処方された薬をどのような姿勢で服薬しているのか、どのような介助を行っているのか、患者の服薬場面を実際に見て把握する。★摂食嚥下障害患者への与薬は、嚥下評価を行い、医師や薬剤師とともに適切な与薬方法や剤形を検討する。★砕いたゼリーに錠剤を刺すと、飲み込む際にゼリーと錠剤がばらばらになり口腔内に錠剤が残りやすい。ゼリーはスライス型にすくい、縦に錠剤を埋め込み、丸呑みしてもらうことでスムーズに食道に移動させることができる。